

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	高齢者の運転免許自主返納について
調査期間	2023年2月17日（金曜）～3月2日（木曜）
設問数	全7問（分岐設問除く）
対象モニター数	6,035名
回答モニター数	3,426名（56.8%）

【調査結果概要】

「高齢者の運転免許自主返納」について、どのようなきっかけで自主返納しているのかを調査し、今後の取り組みを検討するためにご意見をお聞きしました。

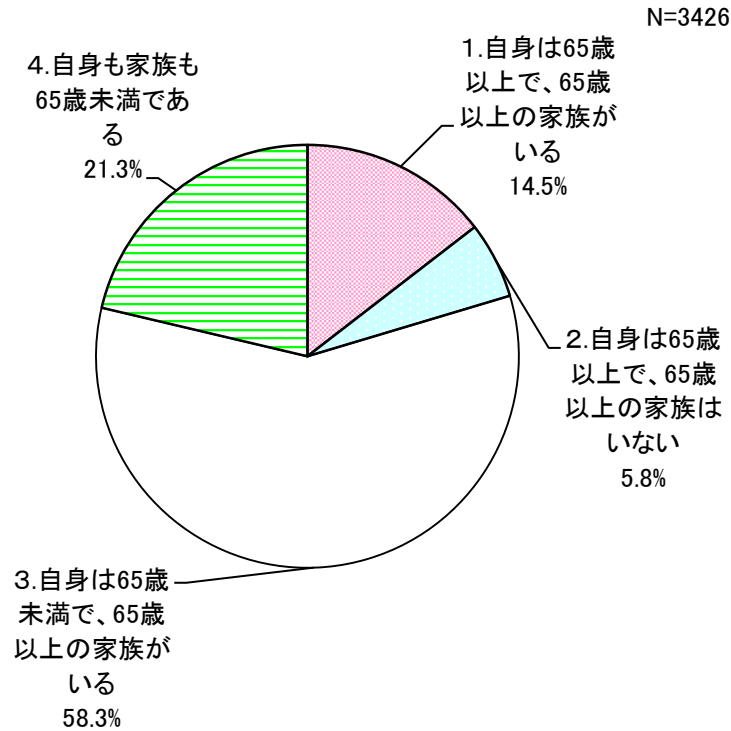
- ① 自身が65歳以上の方のうち、「すでに自主返納した」が15.5%、「考えている」と「将来的には考えたい」をあわせると53.4%でした。
また、自主返納した理由として「運転する必要がなくなったから」が54.6%と最も高く、「運転に不安を感じたから」が36.1%、「返納の特典があったから」が24.1%、「家族の勧め」が13.9%という結果となりました。
- ② 65歳以上のご家族がいる方のうち、「家族がすでに自主返納した」が19.5%、「自主返納を考えてほしい家族がいる」が27.6%でした。また、家族が自主返納したきっかけとして「本人が運転に不安を感じたから」が51.0%と最も高く、「家族の勧め」が33.7%、「運転する必要がなくなったから」が28.6%と続く結果となりました。
- ③ 自身または65歳以上のご家族がいる方のうち、本市で実施している自主返納された方へICOCA5,000円をプレゼントするキャンペーンは、自主返納する「きっかけになると思う」が37.9%、「きっかけにならないと思う」が62.1%でした。また、「きっかけにならないと思う」と回答された方のうち、きっかけにならないと思う理由として「生活や仕事で免許を必要とし代替の交通手段がなく日常に支障があるから」が65.1%と最も高い結果となりました。
- ④ 自主返納について家族と話すきっかけとなる取り組みとして「運転能力・事故リスク診断」が57.5%と最も高く、「身体の変化のセルフチェックによる診断」が42.2%、「自主返納に対する特典の充実」が41.3%と続く結果となりました。

【総評】

今回の調査では、運転免許の自主返納を意識されている65歳以上の方とその家族の方が一定数いること、「運動能力・事故リスク診断」が家族で話すきっかけになる等の意見をいただいたことで、運転免許自主返納に関する取り組みの重要性と、今後どのような取り組みを行うか、引き続き検討していく必要があることを再確認しました。

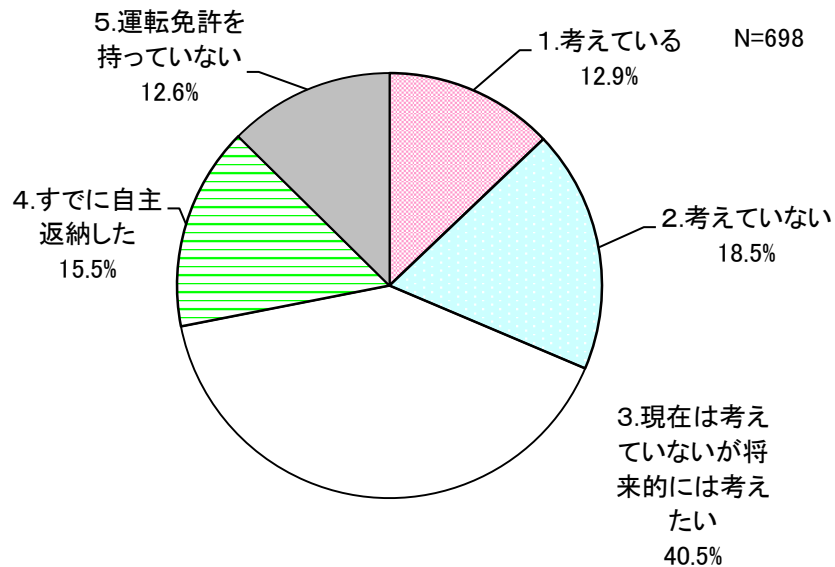
<全員>

問1 あなた自身またはご家族（両親、配偶者、祖父母、兄弟姉妹。同居・別居は問わず）に、65歳以上の方はいますか



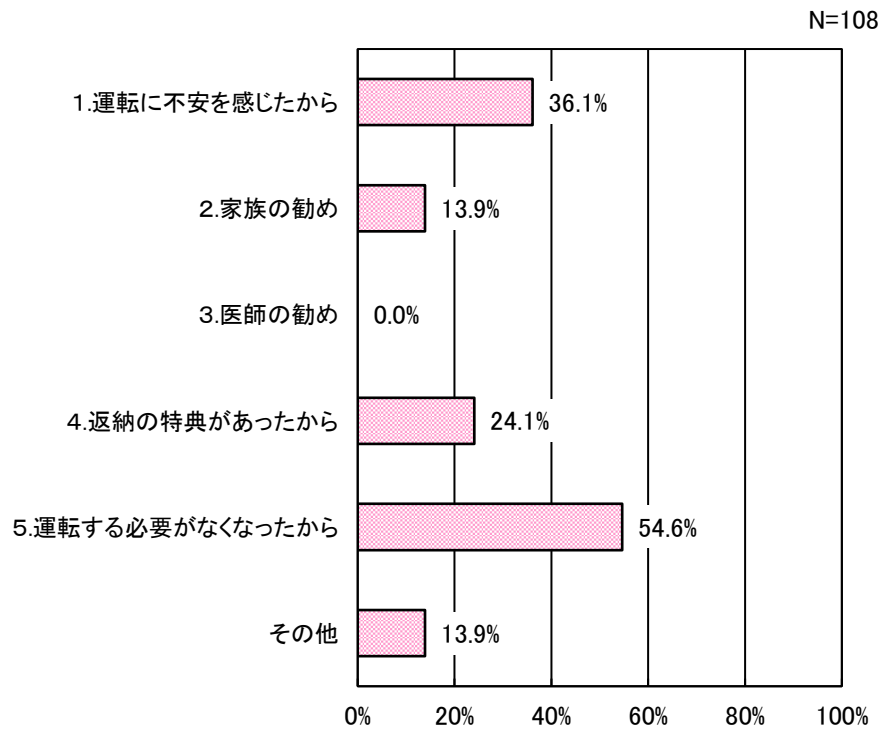
<自身が65歳以上の方（問1で1，2選択者）>

問2 運転免許の自主返納を考えていますか。



<自身が65歳以上の方ですでに自主返納した方（問2で4選択者）>

問2-1 そのきっかけは何ですか（該当するものすべて）

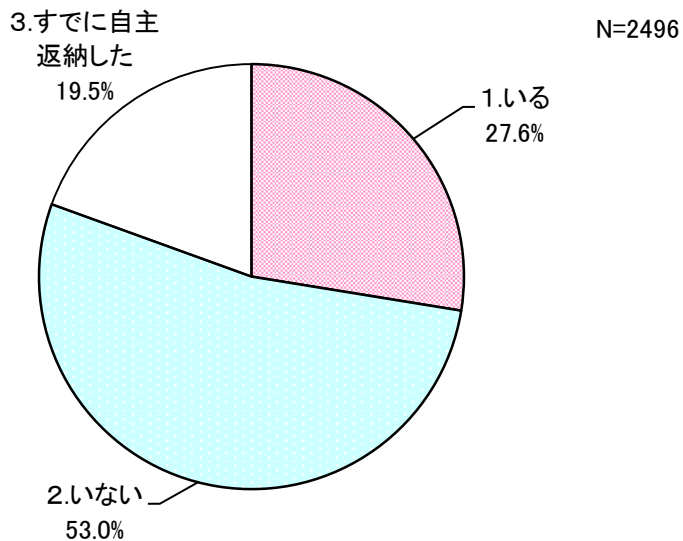


その他

- ・認知機能が低下しないうちにと考えて。
- ・リタイアして通勤に使わなくなったため。

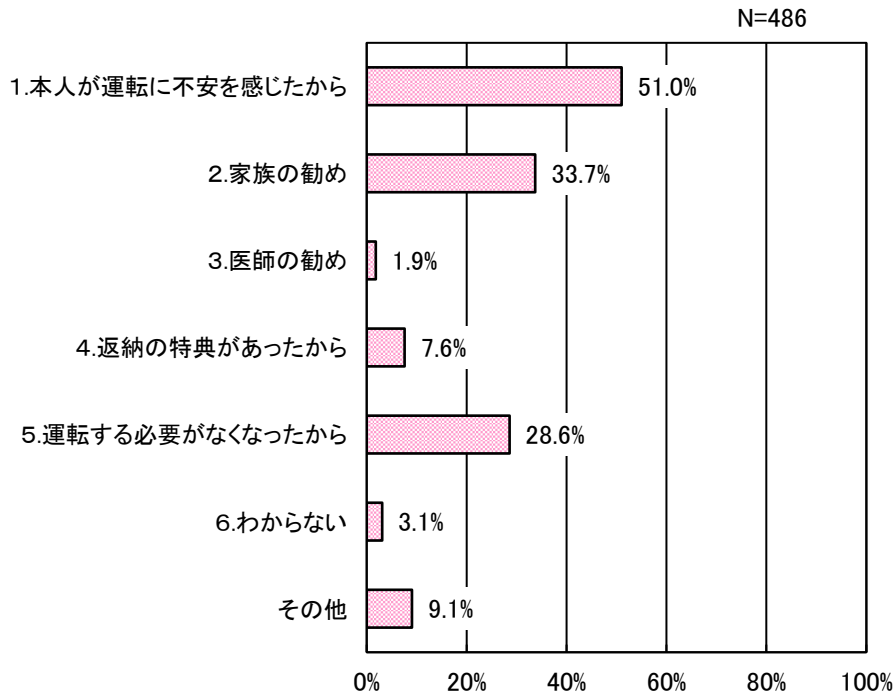
<65歳以上の家族がいる方（問1で1, 3選択者）>

問3 運転免許の自主返納を考えてほしい、自主返納を勧めたい65歳以上のご家族はいま
すか。



<自主返納をした65歳以上の家族がいる方(問3選択肢3選択者)>

問3-1 そのきっかけは何ですか(該当するものすべて。自主返納した方が複数いる場合は、直近で自主返納した方の場合で回答してください。)

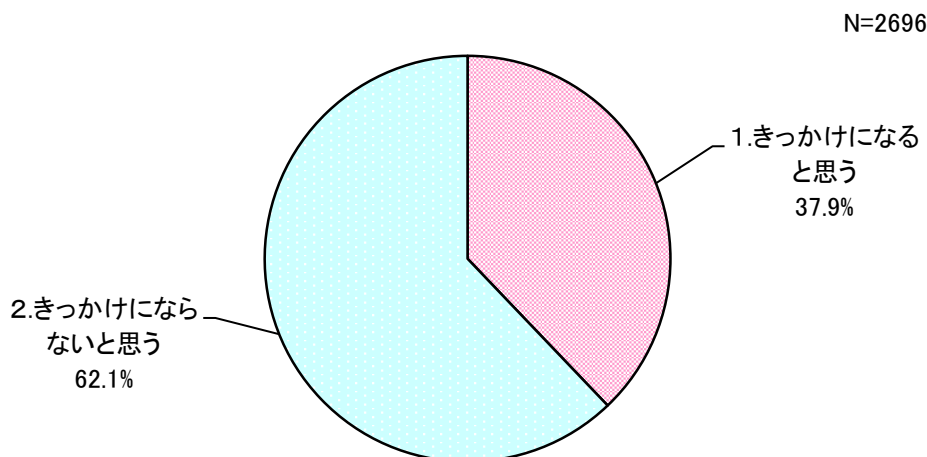


その他

- ・自損事故を起こしたから。
- ・高齢者の大きな事故のニュースを見て。
- ・病気をしたから。

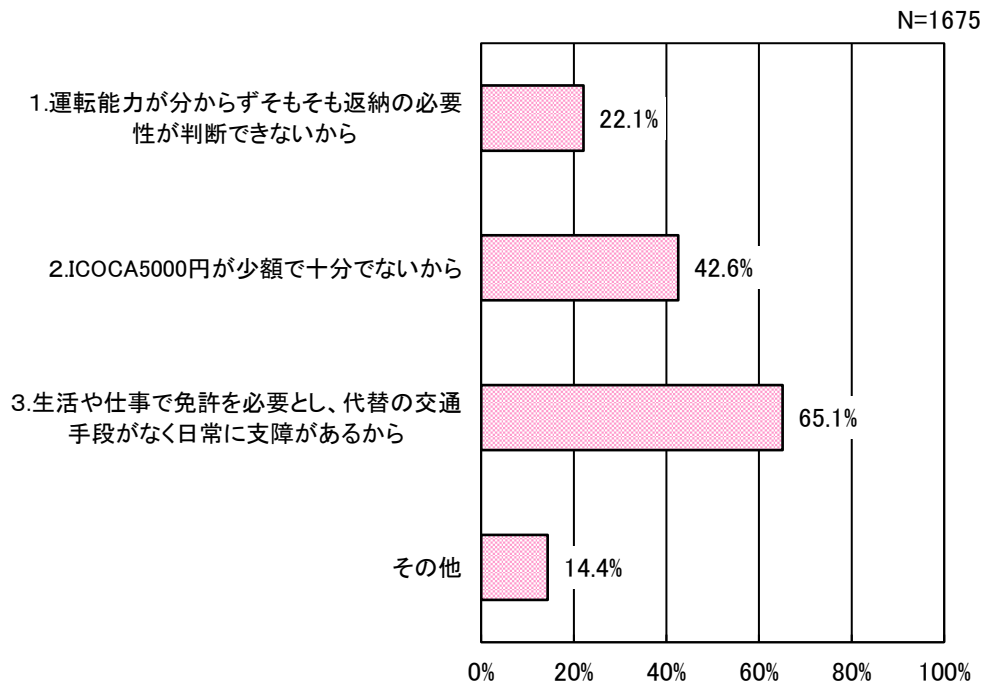
<自身または家族に65歳以上の方がいる方(問1で1, 2, 3選択者)>

問4 本市では、自主返納をされた方にICOCA5,000円をプレゼントするキャンペーンを実施しています。このプレゼントは高齢者が自主返納するきっかけになるとおもいますか。



<自主返納する、きっかけにならないと思うと回答された方（問4 2選択者）>

問4-1 自主返納するきっかけにならないと思われる理由は何ですか。（該当するものすべて）

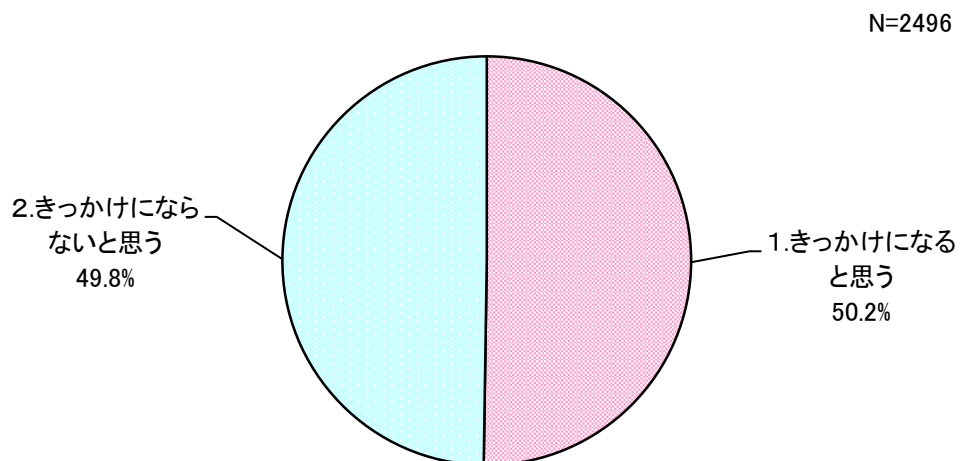


その他

- ・そもそも ICOCA を使える高齢者は少ない。
- ・まだまだ運転能力高いと思っているから。
- ・一時金でなく、持続的なサポートがないと困る。

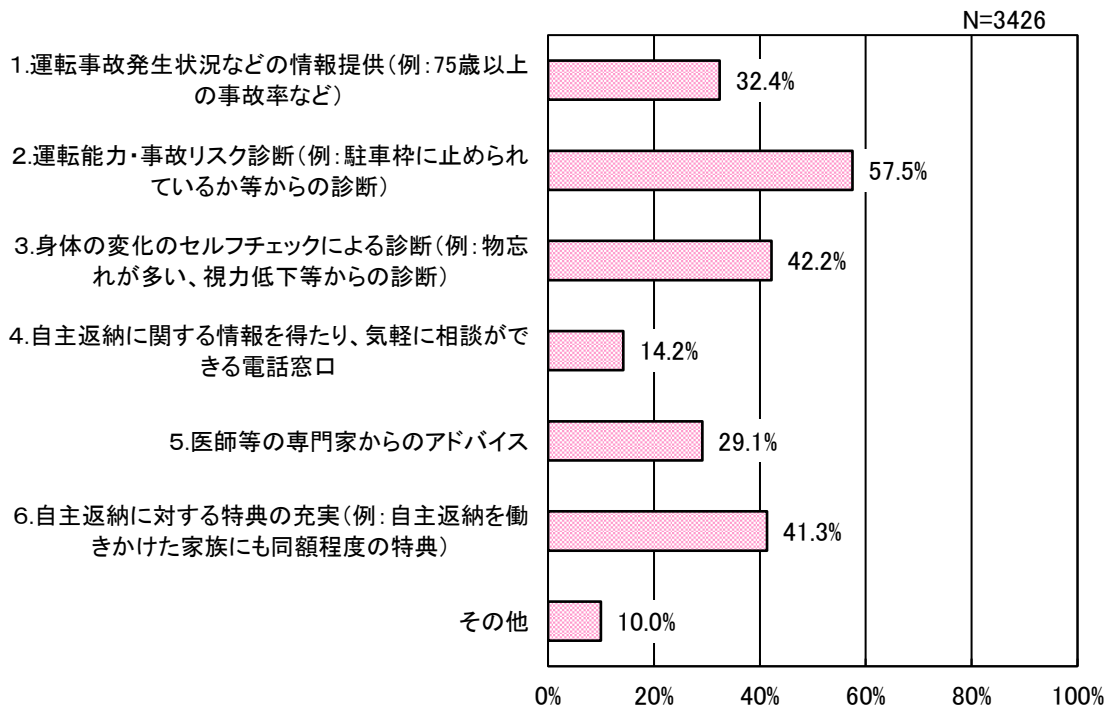
<65歳以上の家族がいる方（問1で1, 3選択者）>

問5 自主返納をされた方に ICOCA5,000円をプレゼントするキャンペーンは、家族で自主返納について話し合うきっかけになるとおもいますか。



<全員>

問6 どのような取り組みがあれば、みなさんが自主返納を検討する、またはみなさんが自主返納について家族と話すきっかけになるとお思いますか。(特に効果的と思うものを3つ以内で選択してください)。



<全員>

問7 その他、運転免許の自主返納を促すアイデア等がありましたら、ご記入ください。

(診断)

- ・運転能力のテストを短期間で行う。無理なものは無理とハッキリ他人から言ってほしい。家族からでは聞いてくれない。
- ・本人が運転に適性かどうか、判断できる客観的指標が必要。
- ・人工知能による事故リスクの診断。
- ・1~2年ごとに、適性検査をし、常に意識を持ってもらう。

(第三者からの働きかけ)

- ・身内からの働きかけでは納得するとは思えないので、第三者から返納をすすめるように働きかけてもらう。
- ・医者や専門家から、ある程度強制を伴う返納の提言。
- ・自主返納をした後の生活シミュレーションができるようにしてもらいたい。
- ・「普通、返すよね」みたいな雰囲気づくり。

(特典の充実)

- ・タクシー券はどうか。
- ・紹介したらもらえる特典。
- ・ICOCAは使用しない方もいる為、それに代わる商品券等。
- ・小学生のお年玉でも10000円の時代にICOCA5000円と言うのは少な過ぎるのではないか。

(継続的な支援)

- ・一時的ではない、交通費補助のようなインセンティブ。
- ・数千円や例え数万円のお金をもらっても、そのお金が返納後亡くなるまでの移動手段や交通費になる訳ではない。

(代替交通手段の充実)

- ・深夜緊急時にも駆けつけてくれるタクシーサービス。
- ・市バスなみの料金でタクシーが利用できるサービス。
- ・日常の買い物に利用できるタクシーチケット。
- ・ボランティアなど、車での送迎が時々で良いので、してもらえると助かる。
- ・バスや電車の料金を割引してくれると、勧めやすい。
- ・小型のコミュニティバスを走らせるなど代替交通手段を充実させなければ進まない。
- ・交通手段を安価にして便利にする。コミュニティバスを今すぐ検討すべき。

(免許制度)

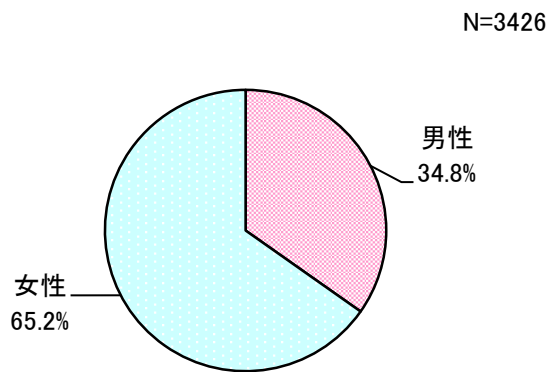
- ・強制返納の年齢を設けるべき。
- ・身体も異常がなく、生活に必要な人は高齢であっても返納する必要はない。それより運転免許取得テストをかなり厳しくする方が大切だと思う。

(その他意見)

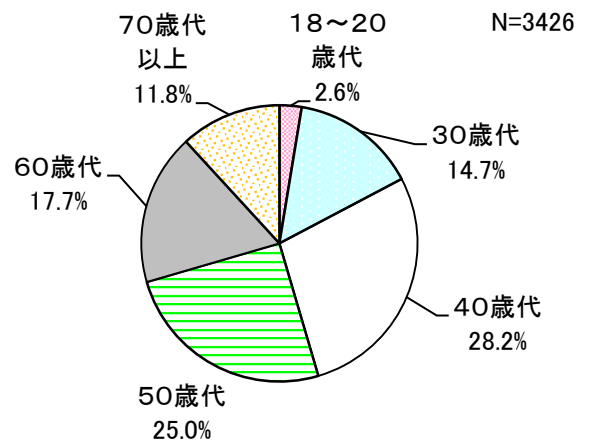
- ・代替交通手段があるのに返さない人と、代替交通手段がない人は分けて考えるべき。

全1107件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

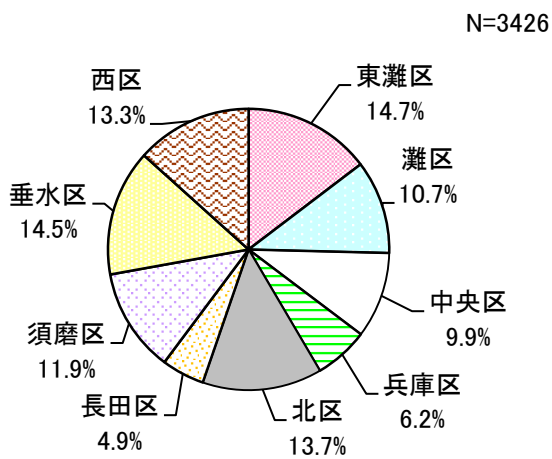
【性別】



【年代】



【区】



【職業】

